



震災復興支援
活動情報

Vol.12

サポセン
かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方のサポート、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、7月22日～8月3日に受付けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター 電話: 022-212-3010

8月20日(土)



ヘルスサポート・カウンセリング研究会

子どもの心に向き合うための「子育てセミナー」の開催

ヘルスカウンセリングの考え方を子育てに取り入れてみませんか? 震災から時が経ち、一見元気そうに見える子どもたち。しかし、小さな心の中は不安でいっぱいです。「そんな子どもたちと私たち親はどのように向き合っていけばよいか」を考えるセミナーを開きます。子どもの心と脳の発達を学び理解することで、子育てに役立てていただくためのセミナーです。

◎全3回コース ①9月22日(木)「現代の子どもと子育て」
②10月27日(木)「子育てとヘルスカウンセリング」 ③11月24日(木)「これからの子育てを考える」/全て10:30～12:30
当日参加可/会場: 仙台市市民活動サポートセンター4F研修室5/受講料: 全3回2500円/講師: 代表 隅田 頌子/託児: 無料(要事前申込)/申込み先: TEL 090(1462)9856 FAX 042(384)2700 E-mail YFA70781@nifty.com

●内容/

現在、東京・仙台・大阪でヘルスカウンセリング講座を開講し、人の心を深く理解する心の温かいヘルズカウンセラーの養成をめざしています。個人カウンセリングセミナーも開催しています。仙台での子育て支援セミナーは2008年より始まり、震災後「子どもの不安に対処するお母さんのセミナー」「子どもの心のケアを考える会」など実施しました。

代表プロフィール: 学校保健師として大学と高校(サポート校)での実践に基づきヘルスカウンセリングを確立。2003年本会設立。

●連絡先

代表者 隅田 頌子
TEL: 090(1462)9856
本部〒184-0013東京都小金井市前原町3-40-36-203
TEL&FAX: 042(384)2700
E-mail: YFA70781@nifty.com



宮城県認知症ケア専門士会

地域の認知症ケアを実践現場で
実情把握から行います

●内容/

認知症ケアの資質向上と交流を図り、地域の認知症ケアの理解を深め住みよい地域づくりを目指しています。復興支援活動では、アンケートの実施などで地域の認知症の人の状況を把握し、家族支援を行っています。また、認知症に関わる研修会も震災復興支援として実施しています。

●連絡先

代表者 佐藤 弥生
TEL: 022(349)8105 FAX: 022(289)8665
連絡可能な時間帯 9:00～17:00(担当 達田 隆子)



みやぎ高齢者問題を考える会

被災した高齢者の
生活相談を行っています

●内容/

被災した高齢者を対象に、生活相談全般と救援物資等の情報提供を行っています。また、震災被害、原発事故についての情報提供及び学習会の開催にも取り組んでいます。これらの活動がひとりぼっちの高齢者をなくすための相互交流につながることを目指し、今後も被災地での高齢者支援を行っています。

●連絡先

代表者 宮内 省一
TEL&FAX: 022(244)5318
(担当: 事務局長 本郷 弘一)



健康

仙台メディカルメイク

顔晴(がんば)るお手伝い「メディカルメイク相談会」

メディカルメイクとは、シミ・アザ・白斑・血管腫・母斑・火傷・傷あとなどのあらゆる皮膚変色をカバーするメイクのことです。9月から大震災によるお怪我やアザなどでお困りの方に、メイクボランティアとしてご自分でできるカバー技法を無料で個別にお教えします。

◎第1回相談会 日時:9月11日(日)10:00~15:00
 /場所:仙台市市民活動サポートセンターセミナーホール/時間:約30分~60分(お1人様)/参加費:無料/
 要予約TEL 080(6226)6437、
 TEL 090(8463)5536(火・土・日)
 TEL 090(5764)1787(火・金)

●内容/メイクが気持ちを明るくする、精神的負担を軽減し自信を持って日常生活を送れる、社会復帰の手助けになるケースもあります。同じ悩みを持つ経験者がサポーターとして相談に応じます。医療用ファンデーションを使用。4月から東北大学病院皮膚科にてメディカルメイク外来(第2火曜日要紹介状)も行っています。

●連絡先

代表者 大東 あかね
 TEL:090(5595)0023(土日可、平日17:00~)
 E-mail:medicalmake-s@kbe.biglobe.ne.jp
 ウェブサイト:http://www.medical-makeup.net



環境

脱原発うちわプロジェクト仙台

小さな風でもみんなであおげば、 大きな風に

●内容/福島第一原発の事故から5ヶ月が経ちましたが、いまだ収束の見通しが立っておらず、放射能への不安が多くのし掛かってきています。そこで、脱原発の風を起こそうと、オリジナル団扇を作成し配布する「団扇1万枚で脱原発」作戦を開始しました。すでに仙台七夕祭り期間中に、1万枚の団扇の配布を終了しています。

●連絡先

脱原発うちわプロジェクト仙台
 TEL:070(6615)4186
 E-mail:miyagi.c.net@gmail.com
 ウェブサイト:http://amba.to/qy9Dra



環境

「さよなら原発1,000万人アクション」inみやぎ実行委員会

子どもの未来と 原発について考える

●内容/「子ども達の命と未来を守ろう」「原発はもういらない」と、9月3日(土)11:00~17:00、勾当台公園野外音楽堂でのコンサートといこいのゾーン(噴水前)でのブースを計画しています。ブース出展希望者はご相談ください。進行のお手伝いをしてくれるボランティアも募集しています。

●連絡先

「さよなら原発1,000万人アクション」inみやぎ実行委員会
 E-mail:mcn_no_nukes@yahoo.co.jp
 Twitter:@sayonaraatmc



環境

FEEL Sendai(社の都の市民環境教育・学習推進会議)

「震災復興と環境」をテーマに 環境問題に取り組む

●内容/持続可能な社会を作っていくために、全ての市民が意識と行動を環境に配慮したものに变えていく「環境教育・学習」を推進しています。平成23年度は、テーマを「震災復興と環境」とした、「[[環境社会実験]未来プロジェクトin仙台]や、環境教育・学習に携わる若い世代の人材育成を目的とした「せんだい環境ユースカレッジ」を実施します。

●連絡先

代表者 委員長 小金澤 孝昭
 TEL:022(214)0007 FAX:022(214)0580
 連絡可能な時間帯 8:30~17:00
 (担当:事務局 仙台市環境都市推進課 金田)
 ウェブサイト:http://www.feel-sendai.jp/index.html



健康

ドラゴンズ

仮設住宅や避難所暮らしの 緊張をゆるめる

●内容/アレクサンダーテクニークを勉強中の生徒と先生の有志が集まり、肩こり、腰痛、緊張、習慣からくる痛みの原因となる動きを探求することで、自然で楽な動きを取り戻すお手伝いをしています。5~20人のグループレッスンで、楽な体の使い方を取り戻すゲームなど、ご相談の上内容を決めながら進めていきます。

●連絡先

代表 福井 健太郎
 TEL:0120(844)882
 ウェブサイト:http://ameblo.jp/alex-biz/



AA広瀬通グループ

飲酒をやめたい人の手助けの場あります

阪神淡路大震災では、潜在的なアルコール依存者が飲酒し避難所や仮設住宅でトラブルを起こしたり、突然死にいたる例が多くあったとのこと。今回の震災においても、長期化する避難生活の中で同様の事例が多発するのでは、と懸念されています。今回の被災を機にアルコール依存症を発症した人はもちろん、既存メンバーのためにも、AAプログラムを実践する場としてのミーティングを計画し、継続的に開催して飲酒問題で困っている人を温かく迎え入れています。震災後32回開催しました。今後も、毎週月・金(祝日を除く)、仙台市市民活動サポートセンターで開催を予定しています。

●内容/「飲酒に関する経験と回復の希望を分かちあうことで共通する問題を解決し、他のアルコール依存症者も回復するように手助けしたい」という、AA(アルコール依存症者による相互援助のための共同体)の唯一最大の目的のために活動。

- (1)定期的に断酒のためのミーティングの開催
- (2)AAメンバーのためのイベントを企画、開催。

●連絡先

TEL & FAX: 022(276)5210 (AA東北セントラルオフィス)
 連絡可能な時間帯:
 毎週 火・水・金(祝日除く) 13:00~17:00
 E-mail: aa.tco20@gmail.com



NPO法人 PARIF(パarif)

被災地での子育てヘルパー養成講習会の開催

●内容/長引く避難体験によって疲弊し、壊れかけそうな子どもの心を守り、二次症状や二次障害などの後天的な心の障害を防止するため、子育てヘルパーとして子どもに寄り添える大人や大学生を、現地で養成するための講習会を開催。養成したヘルパーの派遣、子育て支援活動の質を確保する調査指導やスキルアップ講習会を実施。

●連絡先

代表者 山田 良一
 TEL:090(7550)7215 FAX:079(222)5302
 連絡可能な時間帯 土日祝日は時間を問わず可。平日17時以降
 E-mail:yamadafam@mail.goo.ne.jp
 ウェブサイト:http://www.parif.net/



宮城県地域連合労働組合

「職」と「食」の支援

●内容/被災地での非正規雇用者の労働問題を解決するために、相談会や学習会を開催しています。そのほか、亶理町と仙台市の仮設住宅で支援物資の提供と炊き出しをこれまで12回行ってきました。今後も地元の漁民、農民、労働者、自治体労働者と連携し、共に生きぬくための支援を行っていきます。

●連絡先

代表者 富山 哲夫
 TEL:080(1688)4980
 連絡可能な時間帯 9:00~18:00



一般社団法人J-CAPTA(Japan CAP Training & Action)

子どもへの暴力防止の知識とスキルを学ぶCAPスペシャリスト養成講座in宮城

●内容/日本ユニセフ協会との連携事業として、子どもが様々な暴力から自分を守る教育プログラム「CAP」の理解と実践者の養成講座を開催(基礎編10月21~23日、実践編11月5・6日*受講料免除有り)。共に震災復興の中で子どもの人権が尊重され守られる社会へ向けて、被災地の子どもに関わるすべての大人の方の受講者を募集。

●連絡先

TEL & FAX: 011(666)8517
 (J-CAPTA事務局:木村 里美)
 E-mail:j-capta@j-capta.org ウェブサイト:http://j-capta.org
 TEL:070(5017)4389 FAX:022(295)0882(宮城県担当:CAPみやぎ) E-mail:capmiyagi@yahoo.co.jp



全国学童保育連絡協議会

第36回全国学童保育指導員学校 東北会場in宮城

●内容/「放課後の生活の場」である学童保育は働きながら子育てするうえでなくてはならない施設です。この大震災では、保護者が迎えに来るまで指導員によって子どもたちが守られ、改めて生活の場であることの意味が目撃されました。学童保育と指導員の仕事・役割について、ともに学び交流する講座を10月2日(日)開催します。

●連絡先

宮城県学童保育緊急支援プロジェクト
 TEL:090(1930)4908(担当:池川 尚美)



社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 宮城県福祉人材センター

もう一度介護の現場で働いてみませんか

介護職就労支援研修を開催します。

介護福祉士、ホームヘルパー1級及び2級等の資格を有し、以前介護業務に就いていて、再就労を希望している方、福祉の職場において初めて介護職への就労を希望している方が対象です。(人材センター未登録の方は当日登録していただきます)募集人数は、①講義、②実技いずれも50名程度(先着順)。講義・実技のいずれかのみのご参加も可能です。参加費は無料ですが、事前申込みが必要です。右記連絡先まで問合せの上、申込書にてお申込みください。8月25日(木)締め切りです。

●内容/①講義 日時:8月29日(月)10:00~16:00

会場:宮城県管工事会館9階
(地下鉄勾当台公園駅下車5分)

②実技 日時:9月13日(火)10:00~16:00

会場:東北文化学園大学 3号館南1階介護実習室
(JR国見駅下車徒歩1分)

●連絡先

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
宮城県福祉人材センター
〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4(宮城県社会福祉会館)
TEL 022(262)9777 FAX 022(261)9555
平日・第3土曜日 開所時間 9:00~17:00



(社)宮城県シルバー人材センター連合会

55歳以上の方の雇用・就業や社会参加を応援します

●内容/再就職や社会参加に役立つ就業支援セミナーを開催。充実したセカンドライフに向けて多様な情報を入手し、人生選択の幅を広げてみませんか。◎日時:9月20日(火)10:00~15:00/場所:仙台市民会館/講師:「仙台傾聴の会」代表森山英子氏・キャリアカウンセラー川尻政勝氏/55歳以上の方対象/受講料無料/事前申込要

●連絡先

(社)宮城県シルバー人材センター連合会
〒980-0014
仙台市青葉区本町1-13-19 クリスタルパレス第2本町ビル
TEL:022(797)8035 FAX:022(712)8856
連絡可能な時間帯 平日9:00~17:00(担当 中村)



みやぎNPOプラザ

「50歳からのNPO実践塾」第9期生募集

●内容/未曾有の大震災後から、「社会のために何かしたい、何ができるのか」と考えている皆さま、NPO・市民活動を通して、自分の「キャリア」を見直し、出来ること、やりたい事を、今だからこそこの「実践塾」で見つけませんか。9/17、10/1、10/22、10/29、11/12、11/26の6回講座。申込先着順10名。参加費4,500円。

●連絡先

みやぎNPOプラザ
〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
TEL:022(256)0505 FAX:022(256)0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
ウェブサイト:http://www.miyagi-npo.gr.jp/

仙台市市民活動サポートセンターは、市民活動団体・NPO等の復興支援・まちづくり支援の一環として、9月30日(金)まで無料で貸室をご利用いただけます。

サポセンかわら版をご覧ください。みなさまのご感想をお待ちしております。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ウェブサイト:<http://www.sapo-sen.jp>
E-mail:sendai@sapo-sen.jp

発行日: 2011年8月20日
編集: 特定非営利活動法人 せんだいみやぎNPOセンター
編集人: 小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 眞壁さおり
取材: 市民ライターグループ「おかきプラス」
デザイン: 氏家朗

